

## TIレポート

### 新興経済大国は海外贈賄の傾向が強い

建設、不動産、石油ガス部門は腐敗に最も傾きやすい。

[ベルリン/ロンドン、2008年12月9日]

本日発表されたトランスペアレンシー・インターナショナルの2008年度贈賄指数によると、中国、インド、ロシアのような新興経済諸国に本社を置く企業は海外でビジネスを展開する際に日常的に賄賂を使っていることがわかった。

#### 主要な結果

ベルギーとカナダは、10点満点（最も清廉を示す）中の8.8点で、2008年度BPI1位の座を分け合った。これは、ベルギーとカナダの企業が海外で賄賂を支払う傾向がより少ないということを示している。オランダとスイスではいずれも8.7点で、3位の座を分け合った。得点の低いほうの国について言えば、ロシアが最下位で5.9点、中国（6.5）、メキシコ（6.6）およびインド（6.8）のすぐ下にランクされた。

BPIはまた、公共事業会社や建設会社は公的セクターの事業を請け負うときに最も腐敗を起こしやすく、また、政府の政策決定、政策の実施に不当に影響を及ぼす可能性が高いことをも示している。

#### 慣行化している企業がまだ相当ある

「BPIは、主要輸出諸国の多くの企業が、自己の評判にも一般社会にも悪影響を及ぼすことを認識しながらも、海外で商機を勝ち取るために依然として賄賂を使っていることを示すものです。」トランスペアレンシー・インターナショナル理事長のユグット・ラベルはこう述べる。「腐敗に起因する不平等や不正義があるために、政府にとっては海外贈賄に関わる法令の実施努力を倍増させることが、そして、企業にとっては効果的な贈賄防止プログラムを構築することが喫緊の課題になっています。この精神の中で、すべての主要輸出企業はOECDの外国公務員贈賄防止条約の約束を遵守すべきです。」

2008年度贈賄指数（BPI）は、海外で賄賂を使う可能性の観点から、国際的、地域的な主要輸出国22カ国をランクづけている。これら22カ国の物品・サービスの輸出および海外直接投資の総額は、2006年度で世界全体の75%を占めている。BPIは輸入額および海外直接投資額を基準として選び出された先進国および発展途上国の26カ国の企業出身の

2,742 人の上級管理職からの回答を基礎としている。

### 産業別の贈賄傾向

BPI の基礎となった贈賄調査は、このほか、19 の特定部門における企業の贈賄に関する可能性を調査した。2 つの新しい部門別ランキングのうち、一つ目のものでは、公共事業・建設、不動産開発業、石油・ガス、重工業、鉱業が公務員に最も頻繁に賄賂を支払っていることが確かめられた。贈賄に関して最も清廉な部門と言えるのは、情報産業、漁業、金融業であることが確認された。

もう一つの部門別ランキングは、19 の部門からの企業が、「国家篡奪」(state capture) に関わる可能性を評価したものである。「国家篡奪」とは、当事者が公務員への金銭の支払いを通じて政府の規則、法令、政策決定に不当な影響を及ぼそうとすることを指す。公共事業・建設、石油ガス、鉱業、不動産開発業の企業は、合法・違法な支払いを利用してしばしば国家に影響を与えようとする傾向がいちばん強い。金融セクターの企業は、「国家篡奪」に関しては、公務員に対して賄賂を支払う傾向よりもいっそう悪い傾向があることがわかった。このことは、つまり、金融セクターの企業は規制当局に対してかなり不当な影響を与える可能性が高いということを意味する。現在進行中の世界金融危機の観点から判断して一つの重大なポイントである。

公共政策決定プロセスに不当な影響力をいちばん及ぼしていないのは、農業、漁業、および軽工業セクターであった。

### 結論：よりよいグローバルスタンダードは可能であり、また必要不可欠だ

世界で最も裕福な国々の大半は、OECD 外国公務員贈賄防止条約の下ですでに海外贈賄を禁止する義務を受諾しているものの、BPI 調査の中でインタビューを受けた上級管理職の間では、この条約についての認識が薄かった。海外贈賄を贈賄サイドから規制し根絶することにおいて——また、そのような慣行を防止し訴追する約束を果たすことによって——政府は重要な役割を果たす。

「現在の金融危機は、世界市場がどれだけ（緊密に）統合されてしまったかをわれわれに教えている。状況説明は国境を越えて他国に対してまで周知されねばならないし、リスク管理の改善はサプライチェーンの末端に至るまで徹底されなければならない。」と TI の事務局長コブス・デ・スウォートはこう述べる。「産業界はさまざまな困難に直面してはいるのだが、雇用慣行を、例えば仲介業者、供給業者、子会社との協働などを通じて、改善しようとする努力が見られている。これを見ると、同じような方法で贈賄禁止の基準をグローバルに、仲介業者、供給業者、子会社などにも敷衍することができない理由はない。」

トランスペアレンシー・インターナショナルは腐敗に対するグローバルな闘いをリードする市民社会組織です。

部門別の表およびほかすべてのデータについては、BPIレポートを参照のこと。またウェブでも閲覧可能。 [http://www.transparency.org/news\\_room/in\\_focus/2008/bpi\\_2008](http://www.transparency.org/news_room/in_focus/2008/bpi_2008)

**問い合わせ先：**

ロンドン

Gypsy Guillén Kaiser/Jesse Garcia

携帯: +49-176-101-21-661

ベルリン

Tel: +49-30-34-38-20-666

[press@transparency.org](mailto:press@transparency.org)